

保護者の皆様へ

大東市立南郷中学校
校長 齊藤 政隆

皆様のお子様は、来年4月から南郷中学校の生徒としての生活が始まります。

南郷中学校の教職員は、本校で学ぶ全ての生徒が充実した中学校生活を送り、「**確かな学力**」・「**豊かな心**」・「**健やかな体**」を育み、自らの可能性と将来の夢に向かって力強くチャレンジできるように成長してくれることを願い、指導・支援を行います。

生徒たちに「**確かな学力**」・「**豊かな心**」・「**健やかな体**」を育むためには、学校と保護者が協力して教育にあたるということがとても大切になります。

本校入学にあたり、次の4点についてご理解ご協力をいただきますよう、お願いいたします。

1 「自立」 & 「自律」できる力を身に付けるために

○中学校での学習内容は一段と難しくなります。そして、高校の体験入学や進路説明会、部活動の対外試合等で、北河内地区はもとより、府内各地に出かけていく機会が増えます。保護者の方も「中学生だし・・・」と考え、行動範囲や交際範囲が広がることを認めていきます。それと同時に、中学生になると、これまで以上に自分の言動に責任を問われることが多くなります。

○中学校を卒業する時には、一人ひとりが自分の進路を選択しなければなりません。中学校の3年間で自分の進路を選択することができるよう、日々の積み重ねが大変重要になります。中学生として、やらなければならないことをきちんとやる、守らなければならないルールをきちんと守る、そんなことの積み重ねが中学校卒業時の進路を切り開く力になります。

○中学校の3年間で身に付けて欲しいのは、

☆「**自立**」＝「自分の力で物事を進めて行動する」ことができる力

☆「**自律**」＝「自分で自分の行動や考えにきまりをつけて行動する(わがままを抑えること)」ことができる力、の2つの力です。

○そのために、つぎの5点は必須事項だと思います。

- (1) 素直な心の持ち主であること。
- (2) 真面目に努力を積み重ねることのできる人であること。
- (3) 人の話をよく聴くことのできる人であること。
- (4) ルールを守ることのできる人であること。
- (5) 自分で計画し、家庭学習がきちんとできること。

◎卒業まで約4カ月の小学校生活の中で、中学校入学に向けた準備を整えてください。

2 スマートフォン・iPhoneなどの携帯端末は保護者の責任で

○スマートフォン、iPhoneなどの携帯端末を学校に持ってくることは禁止しています。

・学校内の生活では全く必要ありません。持って登校することがないようにそれぞれのご家庭で指導してください。緊急の連絡の場合は学校の電話を使用できます。

○中学生にスマートフォン、iPhoneなどの携帯端末が本当に必要なのか考えてください。

・小学校段階でかなりの児童がスマートフォン、iPhoneなどの携帯端末を所持しているよ

うです。それに伴い、小学校段階で携帯端末による問題事象(ライン等でのトラブル)が発生しています。中には児童間のトラブルや「いじめ」につながるような事例もあるようです。

- ・自室に携帯端末を持ち込むことで、保護者の目が届かないところで、深夜までメールやライン等のやり取りをしているケースがあります。生活の乱れにつながり問題行動を引き起こしたり、きちんと学習に取り組めなかったりします。

○スマートフォン、iPhone などの携帯端末を持たせる場合、保護者の責任で使用方法、使用状況等について確認と指導を行ってください。

○携帯端末の使用について、それぞれの家庭のルールを作ってください。

＝ 例 ＝

☆夜9時を過ぎたら、携帯端末は保護者の目の届く場所に置かせ、自分の部屋に持っていないかせない。

☆不適切なサイトにアクセスしないよう、保護者の責任でフィルターをかける。

☆ライン等、無料のアプリの使用についても保護者の責任で時々確認する。

☆安易に友人等の写真をアップロードしたり、軽い気持ちでの書き込み等をしないこと。

※保護者が内容を確認していることをお子様に意識させてください。それだけでかなり効果があります。

3 家庭学習の習慣化と日々の積み重ねを大切に

○家庭学習の目標は毎日2時間です。

○家庭での時間の使い方を考え、家庭学習の習慣をつけ実行させてください。

＝表－1＝〔資料中の表は平成26年度全国学力・学習状況調査結果から作成したものです。〕

質問内容	生徒の回答	正答率			
		国語A	国語B	数学A	数学B
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。	している	79.8	46.9	69.1	61.1
	全くしていない	71.6	39.4	55.1	45.6
	正答率の差	8.2	7.5	14.0	15.5

○「継続は力」です。3年生で進路を切り開く力は、1年生の時から積み重ねて確実なものになります。自分で計画をたて、きちんと学習できることが学力につながります。また、1年生、2年生の成績＝評定も高校入試の調査書に記載され、合否判定の資料として使用されません。

4 保護者と学校が協力して子どもを育てましょう。

○南郷中学校では約650名の生徒が生活しています。たくさんの方が一緒に生活しているため、いろいろな問題が起こります。

学校としては、状況に応じて一番いいと判断した方法で解決できるよう指導しますが、中には、ご自分の考え方と違うと感じる保護者の方がおられるかもしれません。そんな時には、担任や学年の教員にご相談ください。

○しかし、お子様の前で学校の批判や教員批判はしないでください。保護者の方の考えを十分に理解しないまま、学校批判や教員批判の部分だけがお子様に伝わる可能性があります。そのことは、学校生活を送るうえで、お子様にマイナスの影響を与えることになります。保護者の方のご意見は担任や学年の教員に直接お伝えください。ご理解、ご協力をお願いします。